

総合特別区域の進捗に係る評価
[アジア拠点化・国際物流分野]

令和元年度

未来創造「新・ものづくり」特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (4.5+4)/2=4.3

4.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	産地力の強化	171%	5
2	企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大	91%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値 (5×1+4×1+3×0+2×0+1×0) / 2 = 4.5

4.5

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (3.5+2.3+4)/3=3.3

3.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・企業立地による地域産業の振興について、新規立地企業の売上高は継続的に増加しており、順調に計画が進んでいる。
- ・産地力の強化という点では、耕作面積の大幅な増加は、6次産業化推進事業や耕作放棄地再生といった、以前からの特区の取組が成果を収めている所で高く評価できる。一方、農畜産物販売額の減少に関して気候・災害等による販売額の変動は当然あるとして、短期的なものか、原因が他にある可能性はないかを探る必要がある。
- ・今後どのようにして目標達成に向け販売力の強化を図っていくのか、具体的に検討する必要あり。業種や分野別の増減の検証や、大都市近郊の利点を生かした農業観光や市内外食・観光業への展開、ブランド農産品加工商品等、他方面への拡大も今後の課題。6次産業化の成果が見える指標があればより具体的な方針の参考になるのではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.3+3.3+4 \times 2) \div 4 = 3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。